

No.84 SHIENだより

松本盲学校 支援相談室

R8-1 8・4・10 (金)

ご入学、ご進級おめでとうございます。

新たな希望を胸に新しい春をお迎えになっていること
と思います。本校では4月7日(火)に入学式を行いました。
今年度は、中学部2名、高等部普通科1名、専
攻科理療科に4名の新生を迎えることができました。
また、小学部には1名の転入生が加わりました。

本校に設置しています弱視通級指導教室にも、新た
に、小学生が1名入級しました。



松本盲学校教育目標

育む友情
元気なからだ
確かな学び

さて、本年度の支援相談室ですが、皆様からのご相談の窓口として、教育相談担
当の古瀬英之、横森美穂、臼井志保、中澤公博が中心的に運営にあたります。見え
方の困難に関わって、学習上、生活上のお悩みやニーズ等がございましたら、どん
な小さなことでもご相談ください。見え方のご様子や、学習場面や生活場面に
応じて、必要な合理的配慮の内容を一緒に考えながら、お子さんがもてる力を十分に発
揮できる経験を通じて、「主体的な学習者」として成長していくことができるよう
サポートしてまいります。

松本盲学校への就学を検討されている皆様も、お気軽に、ご相談ください。視覚
障がい教育のセンターである、本校の専門的な教育活動を計画的に体験いただける
ように進めてまいります。お子さんのもつ可能性を最大限に伸ばし、自信を高めな
がら夢の実現に向けた進路選択につながるように、一緒に考えてまいります。

なお、支援相談室では休日にも支援相談日を開設しております。(全9回)

<令和8年度 支援相談日> ※下記日取りの変更にも対応可能です。

4月18日(土)	5月23日(土)	6月20日(土)
9月26日(土)	10月24日(土)	11月21日(土)
12月19日(土)	1月23日(土)	2月20日(土)

学習や進路等どんなご相談でも構いませんので、お気軽にご連絡ください。

☎0263-32-1815 担当：古瀬・横森・臼井・中澤

～「みかたサポート」をご活用ください～

松本盲学校では、教育相談依頼書式である「みかたサポート」を活用した相談支援を進めております。おかげさまで、多くの学校等でご活用いただいております。本校の支援を必要としている皆様が、できるだけ迅速・スムーズに支援を受けられるよう、事務手続きも簡便なものになっています。①貴校の教頭先生より本校教頭にお電話でご連絡いただきます。②校外支援教室担当教員が貴校の担当者の方と日程調整をいたします。③「みかたサポート依頼書」に依頼内容を記入して本校宛てにFAXで送信いただければ、それが校外支援教室担当教員への「派遣申請」となり、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等に担当者が出向いて相談支援にあたります。オンラインでの相談支援、電話やメールでの相談支援も承ります。

また、定期テスト、高校・大学入試で、「視覚に関する配慮」（合理的配慮）の申請をご検討されている方は、早めに松本盲学校までご相談ください。「みかたサポート依頼書」は、インターネットの本校ホームページからもダウンロードできます。

～まぶしさを感じやすいお子さんたちへの支援～

本を読んだり、ノートに文字を書いたりするときに、紙の白色をととてもまぶしく感じて、文字が消えてしまう、動いて見える、ぼやけて見えるなどの見えにくさがあるお子さんたちがいます。多くの人が気にならない程度の明るさ（太陽光、蛍光灯、LED照明等）でもまぶしく感じて、眼に痛みを感じたり、頭痛を起こしたりすることもあります。本の文章を読み進めることに大きな困難があるので、「学習障害（LD）」と間違われることもあります。「ある波長の光の感受性が高いために生じている視知覚の困難」であり、「アーレン・シンドローム」と呼ばれる症状です。状態像の理解が広がる中で、みかたサポート教育相談につながるケースも増えてきています。松本盲学校では専門的なアセスメントと支援を提供していますので、お気軽にご相談ください。

★「学校公開」は7月7日（火）に開催！

★「目の教室」は8月2日（日）に開催！

「学校公開」では、毎回ご好評をいただいている各メーカー協賛による「視覚支援機器展示会」を今年度も同時開催します。

「目の教室」は、国立特別支援教育総合研究所理事長・元全国盲学校長会会長の青木隆一先生に講師となっただき、「視覚障がい教育の未来像—インクルーシブ教育に貢献する盲学校の役割とは—（仮題）」のテーマで研修会を開催する予定です。お集りいただく子どもたちには、見え方に配慮した楽しい活動を準備してお待ちしています。皆様、ぜひ、足をお運びください。